



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テーオーシー

コード番号 8841 URL <http://www.toc.co.jp/toc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大谷卓男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事務管理部門担当

(氏名) 羽廣元和

TEL 03-3494-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	15,675	△2.4	4,302	△9.1	3,818	△7.9	2,266	42.2
24年3月期第3四半期	16,055	△3.1	4,734	△2.3	4,144	△0.9	1,593	△7.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,424百万円 (△27.7%) 24年3月期第3四半期 3,354百万円 (29.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	18.42	—
24年3月期第3四半期	12.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	134,686	67,335	49.6	542.84
24年3月期	136,011	66,018	48.2	532.45

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 66,791百万円 24年3月期 65,513百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
25年3月期	—	4.50	—		
25年3月期(予想)				4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	0.0	5,600	△6.9	4,850	△7.3	2,850	24.7	23.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。  
詳細は四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	136,879,352 株	24年3月期	136,879,352 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	13,839,156 株	24年3月期	13,838,690 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	123,040,445 株	24年3月期3Q	123,127,694 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)における当社グループの主力事業であります不動産賃貸事業におきましては、東京都内における新築大型ビルの供給が一段落し、新築・築浅の物件を中心に徐々に空室が解消しております。一方で、既存ビルでの需要は低調で賃料水準の改善にはしばらく時間を要するものと思われます。また、商業ビルにおきましては、商業施設間の競合、地域間の競争が激しく、さらに、消費者の購買意欲が盛り上がらないなど厳しい事業環境となっております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における売上高は15,675百万円(前年同四半期比2.4%減)となり、経常利益は3,818百万円(前年同四半期比7.9%減)、四半期純利益は2,266百万円(前年同四半期比42.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

不動産事業におきましては、入居率は前期末に比べ若干低下しておりますが、一部のビルではリニューアルを実施し、競争力の強化と収益の向上を目指しております。この結果、売上高は12,585百万円(前年同四半期比3.9%減)となり、営業利益はテナント誘致に伴う修繕費やエネルギーコスト等の増加により4,150百万円(前年同四半期比13.6%減)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業におきましては、大口顧客先であるホテルが昨年の東日本大震災やそれに伴う原発事故の影響から回復し、宿泊需要が堅調に推移した結果、第3四半期連結累計期間での売上高は1,226百万円(前年同四半期比14.1%増)となり、営業利益127百万円(前年同四半期比184.3%増)となりました。

その他におきましては、ビル管理関連サービス事業では、請負工事の受注が増加したため増収となりました。スポーツクラブ及び温浴施設事業では、スポーツクラブの会員数が前第3四半期末に比べ増加したことにより増収となりました。製菓事業、電子商取引事業では減収となったもののコストの削減に努め損失額が減少しました。この結果、その他での売上高は1,863百万円(前年同四半期比0.8%減)となり、営業利益13百万円(前年同四半期は120百万円の営業損失)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,324百万円減少し134,686百万円となりました。

資産の部の主な増加は、現金及び預金が256百万円であり、主な減少は、有形固定資産が1,552百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,642百万円減少し67,351百万円となりました。主な減少は、1年内返済予定の長期借入金を含めた長期借入金が1,771百万円、未払法人税等が708百万円及び長期預り保証金が552百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,317百万円増加し67,335百万円となりました。主な増加は、四半期純利益2,266百万円及びその他有価証券評価差額金117百万円であり、主な減少は、剰余金の配当1,107百万円であります。自己資本比率は、前連結会計年度末の48.2%から当第3四半期連結会計期間末は49.6%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

不動産事業では、オフィスの需給等先行き明るい兆しが見えつつありますが、テナント誘致の競争は相変わらず厳しい状況にあります。このような状況下、引き続きビルの特性に応じた営業活動に取り組むとともに、リニューアル等を実施したビルにおきましては新規顧客の獲得を目指しております。当社グループにおける業績予想につきましては、現時点におきまして平成24年5月15日発表の予想数値の変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,118	8,375
受取手形及び営業未収入金	1,268	1,298
商品及び製品	22	33
仕掛品	12	19
原材料及び貯蔵品	185	192
繰延税金資産	232	195
その他	376	248
貸倒引当金	△38	△33
流動資産合計	10,177	10,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,807	59,298
機械装置及び運搬具(純額)	118	125
土地	44,149	44,149
建設仮勘定	110	31
その他(純額)	180	209
有形固定資産合計	105,367	103,814
無形固定資産		
借地権	6,966	6,966
施設利用権	56	51
その他	85	47
無形固定資産合計	7,108	7,066
投資その他の資産		
投資有価証券	12,279	12,394
保険積立金	836	855
繰延税金資産	17	12
その他	224	215
投資その他の資産合計	13,358	13,477
固定資産合計	125,834	124,358
資産合計	136,011	134,686

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61	90
短期借入金	13,548	13,182
1年内償還予定の社債	574	574
1年内返済予定の長期借入金	12,758	12,106
未払金	1,082	1,486
未払消費税等	194	68
未払法人税等	1,185	476
賞与引当金	92	22
その他	2,497	3,512
流動負債合計	31,993	31,519
固定負債		
社債	2,396	1,862
長期借入金	23,883	22,764
長期預り保証金	9,976	9,424
退職給付引当金	276	303
役員退職慰労引当金	272	287
環境対策引当金	58	58
資産除去債務	261	261
繰延税金負債	707	764
その他	165	105
固定負債合計	37,999	35,831
負債合計	69,993	67,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	10,082	10,082
利益剰余金	47,104	48,264
自己株式	△5,283	△5,283
株主資本合計	63,672	64,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,889	2,006
繰延ヘッジ損益	△48	△46
その他の包括利益累計額合計	1,840	1,959
少数株主持分	505	544
純資産合計	66,018	67,335
負債純資産合計	136,011	134,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	16,055	15,675
売上原価	9,697	9,830
売上総利益	6,357	5,844
販売費及び一般管理費	1,622	1,542
営業利益	4,734	4,302
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	174	143
持分法による投資利益	0	—
受取事務手数料	47	51
その他	49	41
営業外収益合計	277	241
営業外費用		
支払利息	763	684
持分法による投資損失	—	1
その他	103	39
営業外費用合計	867	725
経常利益	4,144	3,818
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	260	9
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	888	—
解体撤去費用	—	120
特別損失合計	1,149	132
税金等調整前四半期純利益	2,995	3,685
法人税、住民税及び事業税	1,292	1,347
法人税等調整額	95	32
法人税等合計	1,388	1,379
少数株主損益調整前四半期純利益	1,607	2,305
少数株主利益	13	39
四半期純利益	1,593	2,266



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,607	2,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,774	117
繰延ヘッジ損益	△26	1
その他の包括利益合計	1,747	119
四半期包括利益	3,354	2,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,341	2,385
少数株主に係る四半期包括利益	13	39

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプ ライ及びランド リー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,101	1,074	14,176	1,878	16,055	—	16,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	715	39	755	103	858	△858	—
計	13,817	1,114	14,931	1,981	16,913	△858	16,055
セグメント利益 又は損失(△)	4,801	45	4,846	△120	4,725	9	4,734

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ及び温泉施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額9百万円には、セグメント間取引消去4百万円、減価償却の調整額5百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプ ライ及びランド リー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,585	1,226	13,812	1,863	15,675	—	15,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	712	39	751	100	852	△852	—
計	13,298	1,265	14,563	1,964	16,527	△852	15,675
セグメント利益 又は損失(△)	4,150	127	4,278	13	4,292	9	4,302

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ及び温泉施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額9百万円には、セグメント間取引消去5百万円、減価償却の調整額4百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。